



広島交響楽団

秋山和慶のデイスカバリリー・シリーズ

「音楽の街を訪ねて」

第11回 ロンドン



独自の世界を切り開いた
ヴォーン・ウィリアムズ、
新しい時代を感じたウォルトン、
ブリテンのパーセルへのオマージュ。
二つの大戦に挟まれた時代に生きた
音楽家たちの肖像です。



古代ローマ時代以来の伝統を持ち、18世紀後半には、他国に先駆け実現した産業革命により世界経済を支配して、広大な植民地を領有するまでになったイギリス。その首都ロンドンも17世紀から国際都市として発展します。数々の異文化が影響を及ぼしあい、伝統的なものと革新的なものが混ざり合うこの街では、20世紀、イギリス民謡復興の動きが生まれるなど、国独自の音楽を模索したさまざまな楽曲が作られます。

プログラム

ウォルトン／「ファサード」組曲 第1番
ブリテン／パーセルの主題による変奏曲とフーガ
ヴォーン・ウィリアムズ／交響曲第2番「ロンドン交響曲」



指揮 秋山和慶
Kazuyoshi Akiyama

2014年12月19日「金」

アステールプラザ大ホール 18時45分開演
「17時45分開場」

S席／5,200円—A席／4,200円—B席／3,200円—学生券／1,000円（学生券は広響事務局のみの取り扱い）
チケット取り扱い／エディオン広島本店・福屋八丁堀本店・福屋広島駅前店・アルパーク天満屋・アステールプラザ情報交流ラウンジ
チケットぴあ（Pコード219743）・ロソンチケット（コード69965）・広島アーツ楽器・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所取り寄せ・広響事務局で販売
お問い合わせ／広響事務局 TEL.082-582-3080 E-mail:info@hirokyo.or.jp URL: http://hirokyo.or.jp

※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※観覧前のお子様のお入場はご遠慮ください。

協賛／中国電力・広島銀行・広島電鉄・マツダ
主催／（公社）広島交響楽協会・中国新聞社
共催／（公財）広島市文化財団 後援／広島市・広島市教育委員会
助成／文化庁文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）



ホルストがジゼルを作曲した建物



ロンドン



ウェストミンスター寺院



ショパンのロンドンの家



ビッグベン



広島交響楽団 秋山和慶の ディスカバリー・シリーズ

「音楽の街を訪ねて」

輝かしい栄華と歴史、ロンドン

「日の沈まぬ国の光と陰」

指揮／秋山 和慶

1941年生まれ。故齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューのち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース交響楽団音楽監督（現在名誉指揮者）を歴任。サンフランシスコ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロスアンゼルス・フィル、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィル、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、ロイヤル・フィル、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマンド管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。

1998年に広島交響楽団首席指揮者・ミュージックアドバイザーとなり、2004年には音楽監督・常任指揮者に就任。定期演奏会やディスカバリー・シリーズ、2度の海外公演（ロシア、韓国）などで広響の能力を飛躍的に伸ばし、各方面から高い評価を受けている。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞、広島市民賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞のほか、紫綬褒章、旭日小綬章なども受章。

現在、広島交響楽団音楽監督／常任指揮者、東京交響楽団桂冠指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティストティック・ディレクター／プリシパル・コンダクターを務めている。

管弦楽／広島交響楽団

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。その後「広島交響楽団」と改称し、1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする中、四国唯一の常設オーケストラとして活躍の場を拡げている。

初代常任指揮者の井上一清（現・名誉創立指揮者）に続き、1984年に日本音楽界の重鎮であった渡邊曉雄が音楽監督・常任指揮者に就任。渡邊曉雄の就任は楽団の根幹を確かなものとし、その後、高関健、田中良和、十東尚宏の各氏が音楽監督を歴任、その精神を受け継いだ。1998年に秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務め、広響を全国有数のオーケストラに育て上げた手腕は高く評価されている。

海外公演として、ウィーン、ブラハ、フランス（ルーアン、ル・アーブル）、ロシア（サンクトペテルブルク）、韓国（ソウル、プサン、テグ）など、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。

現在は年10回の定期演奏会、呉、福山・廿日市・島根での地域定期や「秋山和慶の ディスカバリー・シリーズ」をはじめ、移動音楽教室、「マイタウンオーケストラ広響」、「音楽の花束」名曲シリーズを行っている。他に、各種依頼公演、小編成によるアンサンブルを含む年間約140回に及ぶ公演を行っている。2001年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍を期待されている。

「P3HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

これまでに広島市民賞、広島市政功労賞、広島文化賞、広島ホームテレビ文化賞、地域文化功労者賞（文部大臣表彰）、第54回中国文化賞、第17回県民文化奨励賞、第5回国際交流奨励賞、文化対話賞（ユネスコ）を受賞。

公式ホームページ URL <http://hirokkyo.or.jp>



博物館にあるハーピシコード

古今東西の文化遺産を集めた大英博物館をはじめ、250もの博物館や美術館があると言われるロンドン。中でも音楽ファンなら訪れたいのが、1724年イギリスに帰化したヘンデルが、1723年から亡くなる59年まで暮らした住居を公開した博物館。作曲部屋やリハーサル室、寝室などが再現され、コンサートも定期的に行われます。特に建物内の階段は当時のまま。時が止まったようです。またヘンデルやパーセル、ヴォーン・ウィリアムズが眠るウェストミンスター寺院もおすすめ。



テムズ川

クラシック音楽が生活に根ざした楽しみになっているロンドンでは、コンサートホールはもちろん、夏には野外でも頻りにコンサートが行われます。ハムステッド・ヒースのケンウッド・ハウスでのピクニックコンサートや、ホーランド・パークの野外オペラはいかが。また7月から9月にかけての2ヶ月間は、ロイヤル・アルバート・ホールを中心に、100以上のイベントが行われる世界最大のクラシック音楽祭「ザ・プロムズ」も登場。安価ながら熱気に満ちた演奏が楽しめます。



(文) 堀内みさ (写真) 堀内昭彦